



静岡県 かななみ 函南町教育委員会

児童生徒の頑張りを「褒める」ツール ～ 学ぶ意欲を高め、先生の声掛けできめ細やかな学習支援～

函南町では「豊かな感性と『生きる力』をもつ子どもの育成」を教育目標とし、その小柱として個別最適な学習を進めるためにICTやeライブラリの活用を進めています。今回は丹那小学校と東中学校で、朝学習やテスト対策にeライブラリを活用している実践をご紹介します。

朝学習でドリルを習慣化

函南町立丹那小学校



▲ポータルサイトからシングルサインオンできるので、すぐにドリル学習が始まります

朝学習では、低学年は先生が教材を指定し、高学年は学習する教材を自分で考えて継続的に取り組みます。

eライブラリの自動採点で「○だった!」と喜ぶ児童に先生は「ナイス!」と声をかけます。eライブラリを通して、先生が一人一人に声をかけながら達成感を共有することで、少人数ならではのアットホームな雰囲気での学習支援をしています。

ポイント 朝学習の継続活用でドリル学習を習慣付ける

授業の「すきま」と「まとめ」で短時間のドリル学習



▲机の横のバッグに端末を入れているので、文房具のように使えます

朝学習で操作に慣れている児童は、授業の「すきま」や「まとめ」で気軽にeライブラリを使います。

端末を使いたいとき、机の横のバッグからさっと取り出し、シングルサインオンで取り組めるので、自分の学習ペースを崩さずに、短時間でのドリル学習に集中することができます。

ポイント 机の横にある端末とシングルサインオンで授業中短時間でも取り組みやすくする

インタビュー 児童の気持ちに寄り添ったきめ細やかな支援を

児童はドリルに○が付くと喜び、×が付くと落ち込むように、eライブラリで問題演習をすると、ささいな気持ちの変化を拾うことができます。教員は、一喜一憂する児童に対してそれぞれに合った励ましの言葉をかけて、本校が掲げるきめ細やかな支援に生かしています。

授業参観で、保護者の方にeライブラリで学習する児童の様子を見ていただくと、「おお!すごい!」と目を丸くして感心していました。今後、学級全体への宿題や地域の方から学習支援していただく際の教材として、活用の幅を広げていきたいと思えます。



教務主任
山下 祐二 先生

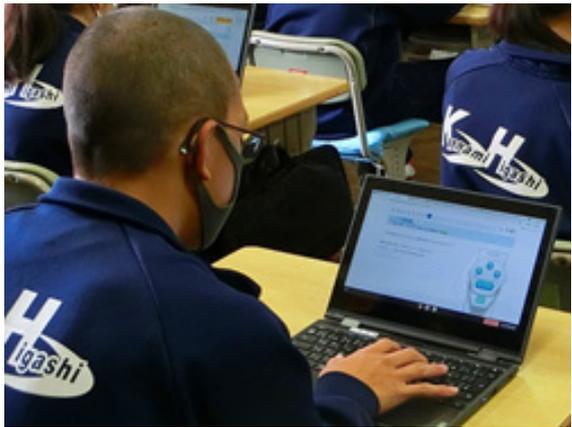
2分前着席×ドリルで始まる授業 ひがし 函南町立東中学校



東中学校では、2分前着席で授業を始める仕組み作りをしています。その時間に先生からeライブラリで問題を出題しておくことで、**教室移動時も自発的にタブレットを開いて着席し、問題に取り組むようになりました。**

学習状況や成績は先生から確認できるため、生徒も限られた時間内で取り組み、成績を提出します。**2分前着席×ドリルが習慣化し、生活指導の面でも、落ち着いた雰囲気**で授業のスタートが切れるようになりました。

単元テスト前の確認テストで弱点克服



数学の授業では、単元テスト時に授業前半の10分で確認テストを行い、できていない部分をドリルや教科書で復習してから紙のテストに臨むよう指導をしています。

「教科書の内容が網羅されている確認テストをやってみて、できなかったところを復習するというシンプルなことを直感的にできます」と後藤先生。テスト前の時間で個々の弱点や理解の足りなかった箇所を効率的に見つけ、しっかりと補うことで紙のテストに生かしています。

インタビュー 頑張っている生徒をより伸ばせる

eライブラリは授業や単元テスト対策以外でも、家庭学習や全校で行っている毎週水曜日の朝のChromeタイムでも活用しています。生徒からは**「自分のわからないところがわかる」「分野ごとになっているから、ピンポイントで苦手な単元を復習できる」「どこを復習すれば良いかわかりやすい」と**いう感想がありました。

生徒に学習履歴を先生が確認すると伝えておくことで、意欲的な生徒はそれを励みに取り組み、**主体的に取り組むという意欲の観点で頑張っている生徒をしっかりと評価できる**のが良いと感じています。



GIGAスクール担当
後藤 卓 先生

インタビュー 家庭で「eライブラリをやりたい！」の声に効果を実感

「GIGA開き」の昨年度は、eライブラリなどの学習用サイトを集めたポータルサイトを用意し、児童生徒および先生方が使いやすい環境を整えて運用を開始しました。

eライブラリはこれまで一人の先生では補えきれなかった、**個に応じた指導**ができ、**授業の時間を最大限有効活用**できるところが一番の利点だと感じています。また、先生方も今までとは違う視点から、**児童生徒の頑張りを見つけたり褒めたりすることができるようになり、「導入して良かった」といった声**が聞かれます。

これからは町全体で持ち帰りを本格的に進めていきます。中学3年生を対象に持ち帰りで何をしたいかアンケートを取ったところ、**eライブラリが断トツで一番**でした。それは学校で活用して効果を実感しているからこそだと思います。今後は家庭学習を軸としてeライブラリを定着させて「確かな学力」に結びつけていきたいと思っています。



函南町教育委員会
岩本 浩輔 指導主事

※ 本紙の情報は取材当時（2021年度）のものです。